

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(耐震計算書:燃料プール水位・温度(SA)関係)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.2	基礎・支持構造欄について、保護管の記載を追加しました。(下線部参照) (旧)・・・架構に固定する。架構は、・・・ (新)・・・架構に固定する。保護管は、保護管固定金具を介して架構に溶接にて固定する。架構は、・・・	2022/8/24	
2	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.2	概略構造図について、詳細図、矢視図を追加し、構造ががわりやすいように記載を充実しました。	2022/8/24	
3	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.5	機器名称の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)計器の荷重 (新)検出器の荷重	2022/8/24	
4	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.9	4.2(1)について、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)(1)・・・水位・温度(SA)の計器の質量は、計器自身の質量のほか、・・・ (新)(1)・・・水位・温度(SA)の架構及び保護管の質量は、架構及び保護管自身の質量のほか、・・・	2022/8/24	
5	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.9	4.2(2)として、架構及び保護管の質量の付加方法と、水の質量及び水の付加質量の付加方法についての記載を追加しました。	2022/8/24	
6	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.9	No.4に示す記載の追加により、4.2(2)を4.2(3)とし、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)(2)燃料プール水位・温度(SA)の計器の質量は、重心に集中するものとする。 (新)(3)燃料プール水位・温度(SA)の検出器の質量は、架構の検出器固定部に付加するものとする。	2022/8/24	
7	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.9	No.4に示す記載の追加により、4.2(3)を4.2(4)とし、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)(3)燃料プール水位・温度(SA)の計器の重心位置については、計算条件が厳しくなる位置に重心位置を設定するものとする。 (新)(4)燃料プール水位・温度(SA)の検出器は、架構の検出器固定部の他、外部サポートにも支持する構造であるが、検出器の質量は計算条件が厳しくなる架構の検出器固定部に付加するものとして設定する。	2022/8/24	
8	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.9	No.4に示す記載の追加により、4.2(4)を4.2(5)とし、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)(4)拘束条件として、基礎ボルト部の並進方向を固定する。また、水中サポートブロック部の水平方向及び鉛直方向のうち下向き方向を固定する。・・・ (新)(5)拘束条件として、基礎ボルト部の並進3方向を固定する。また、水中サポートブロック部の水平方向の並進2方向と鉛直方向のうち下向き並進方向を固定する。・・・	2022/8/24	
9	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.9	4.2(6)として、架構と保護管及び水中サポートブロックと架構について、接続と固定条件を追記しました。また、追加に伴い、以降の()番号を変更しました。	2022/8/24	
10	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.9	注記*の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)機器が流体中で加速度を受けた場合に質量が増加したような効果を模擬した質量 (新)付加質量とは、機器が流体中で加速度を受けた場合に質量が増加したような効果を模擬した、機器の形状により定まる仮想質量をいう。	2022/8/24	
11	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.10	図4-1について、図中の記載を、それぞれ以下の通り適正化しました。(下線部参照) (旧)サポート鋼材、検出器荷重点、仮想鋼材 (新)架構、検出器集中質量、剛性の高い梁要素	2022/8/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
12	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.16	機器名称の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)計器の質量 (新)検出器の質量	2022/8/24	
13	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.16	5.1(2)について、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・また、水平方向及び鉛直方向の組み合わせには、SRSS法を適用する。 (新)・・・また、水平方向及び鉛直方向の組み合わせには、絶対値和を適用する。	2022/8/24	
14	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.16	5.1(4)として、スロッシング力の作用方法について、以下の記載を追記しました。 (4)スロッシング力は、特定長さに区切った区間分の荷重を集中荷重として設定する。	2022/8/24	
15	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.20	表5-4の2行目について、鉛直方向の固有周期の記載を他の計算書の記載方法と統一しました。 (旧)鉛直:0.031 (新)鉛直:0.05以下	2022/8/24	
16	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.20	表5-4の5行目について、応答鉛直震度の注記番号を適正化しました。(下線部参照) (旧)*3 (新)*4	2022/8/24	
17	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.20	表5-4の動的震度の注記として、以下の注記*6を追記しました。(下線部参照) (旧)動的震度*5 (新)動的震度*5、*6	2022/8/24	
18	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.20	No.17に示す、表5-4の動的震度の注記*6の追記により、静的震度の注記番号を変更しました。(下線部参照) (旧)静的震度*6 (新)静的震度*7	2022/8/24	
19	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.20	表5-4の動的震度についての注記*5の記載内容を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計用震度Ⅱ(基準地震動S _s) (新)応答水平震度は設計用震度Ⅱ(基準地震動S _s)を上回る設計震度、応答鉛直震度は設計用震度Ⅱ(基準地震動S _s)	2022/8/24	
20	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.20	表5-4の動的震度の注記として、以下の注記*6を追記しました。また、追記に伴い、以降の注記番号を適正化しました。 *6:最大応答加速度を1.2倍した震度	2022/8/24	
21	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.21	5.4.1(1)について、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・、地震力及びスロッシング力による応力を合算することにより、・・・ (新)・・・、地震力及びスロッシング力による応力を絶対値和することにより、・・・	2022/8/24	
22	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.22,24	言及している解析の内容を明確化しました。(下線部参照) (旧)・・・、三次元はりモデルによる個別解析から・・・ (新)・・・、三次元はりモデルによる地震力及びスロッシング力に対する解析から・・・	2022/8/24	
23	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.22,24,34	図中の記載を以下のとおり適正化しました。 (旧)計器荷重点 (新)検出器集中質量	2022/8/24	
24	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.24	機器名称の記載を適正化しました。 (旧)サポート鋼材 (新)架構	2022/8/24	
25	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.30	1.1設計条件の鉛直方向の固有周期の記載を他の計算書の記載方法と統一しました。 (旧)0.031 (新)0.05以下	2022/8/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
26	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.30	1.1設計条件の注記*2の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計用震度Ⅱ(基準地震動Ss) (新)応答水平震度は設計用震度Ⅱ(基準地震動Ss)を上回る設計震度、応答鉛直震度は設計用震度Ⅱ(基準地震動Ss)	2022/8/24	
27	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.33	他の計算書の記載方法と統一しました。(下線部参照) (旧)・・・応答加速度又は1.2・DAS のいずれか大きい値とする。 (新)・・・応答加速度。	2022/8/24	
28	NS2-添2-004-05	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.35	サポート鋼材①～④の材料について、記載を修正しました。 (旧)SUS304 (新)SUS304TP	2022/8/24	
29	NS2-添2-004-06	VI-2-4-2-5 燃料プール水位(SA)の耐震性についての計算書	P.2	概略構造図について、見やすくなるよう図の配置等を変更しました。	2022/8/24	
30	NS2-添2-004-06	VI-2-4-2-5 燃料プール水位(SA)の耐震性についての計算書	P.11,14,15,17,19,21	工認目録番号と資料名を分けて記載するよう、他の計算書と記載方法を統一しました。(下線部参照、下記は代表例) (旧)・・・添付資料「VI-2-1-7 設計用床応答スペクトルの作成方針」・・・ (新)・・・VI-2-1-7「設計用床応答スペクトルの作成方針」・・・	2022/8/24	
31	NS2-添2-004-06	VI-2-4-2-5 燃料プール水位(SA)の耐震性についての計算書	P.14	表4-5の弾性設計用地震動Sd又は静的震度における応答鉛直震度について、誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)応答鉛直震度*4 (新)応答鉛直震度	2022/8/24	
32	NS2-添2-004-06	VI-2-4-2-5 燃料プール水位(SA)の耐震性についての計算書	P.15	モーメントの組合せ方法についての記載を統一しました。(下線部参照) (旧)・・・曲げモーメントはベクトル和にて・・・ (新)・・・曲げモーメントはSRSS法を用いて・・・	2022/8/24	
33	NS2-添2-004-06	VI-2-4-2-5 燃料プール水位(SA)の耐震性についての計算書	P.16	地震力とスロッシングによる発生応力の組合せ方法を明確化しました。(下線部参照) (旧)地震力及びスロッシングによる発生応力を合算することにより、・・・ (新)地震力及びスロッシングによる発生応力を絶対値和することにより、・・・	2022/8/24	
34	NS2-添2-004-06	VI-2-4-2-5 燃料プール水位(SA)の耐震性についての計算書	P.23,24,26	数式番号の記載位置を、数式の横に並ぶよう変更しました。	2022/8/24	
35	NS2-添2-004-06	VI-2-4-2-5 燃料プール水位(SA)の耐震性についての計算書	P.26	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)許容組合せ応力引張応力 (新)許容組合せ応力	2022/8/24	